

# LTC-T80TS/FS

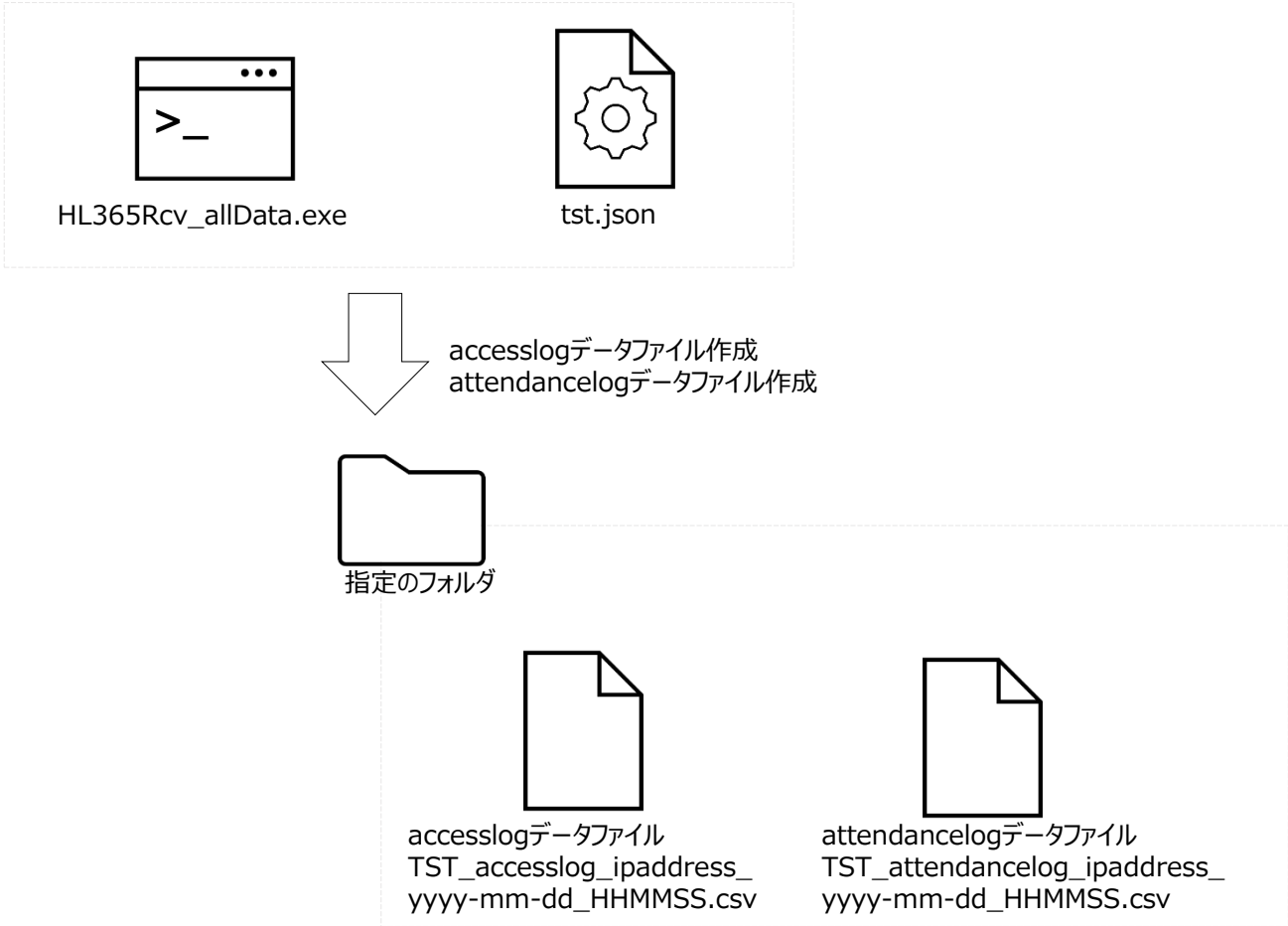
## API制御に関する動作確認プログラムマニュアル

- プログラムは製品のAPI制御の動作確認サンプルです。  
実際に製品に蓄積された記録の全てを抽出し、指定フォルダへCSVデータとして出力します。
- 動作確認用サンプルですのでノンサポートとなります。

**ロジックINAソリューションズ株式会社**

# 1. 全データ受信プログラム

全データ受信プログラムは、実行形式ファイルのHL365Rcv\_allData.exeと、その設定ファイルのtst.jsonの2つで構成されます。  
HL365Rcv\_allData.exeを実行すると、tst.jsonに設定された内容に従い、端末からaccesslogデータとattendancelogデータを取得し、指定のフォルダ内にCSVファイルとして保存します。



# 2. 全データ取得プログラムの設定

全データ取得プログラムの設定ファイル tst.jsonには、端末に対するパラメータと、データの格納フォルダを設定します。

tst項目  
使用する端末毎にIPアドレス、ユーザー名、パスワードを設定します。  
①の例では、IPアドレスが192.168.0.100、ユーザー名は0000、パスワードは0000の場合です。

データの格納フォルダは、pathに設定します。このとき、¥は、¥¥と二つ記述します。

また、複数台の製品を使用する場合は、②のように項目を追加します。  
この際、カンマの有無に注意して下さい。

① 1台設定

```
{
  "tst": [
    {
      "ipadr": "192.168.220.100",
      "user": "0000",
      "pw": "0000",
      "path": "c:¥¥tst¥¥tst100"
    }
  ]
}
```

② 2台設定

```
{
  "tst": [
    {
      "ipadr": "192.168.220.100",
      "user": "0000",
      "pw": "0000",
      "path": "c:¥¥tst¥¥tst100"
    },
    {
      "ipadr": "192.168.220.101",
      "user": "0000",
      "pw": "0000",
      "path": "c:¥¥tst¥¥tst101"
    }
  ]
}
```